

# 基礎教室における 実験時の緊急対応

実験時に想定される緊急事態は、職員の対応という観点から考えると大きく分けて3つのケースが考えられる。これら緊急事態に対して基礎教室が備えていることは次の通りである。

## 1. 持病の発作、急性の疾患の場合

- ・理工学基礎実験（学部2年生）B実験で最近起きた事例

⇒ 

- ・簡易ベッド購入（日吉の予算／貧血の学生に対しても）
- ・緊急時連絡先表作成

- ・ノロウィルス対策

⇒ 学生を遠ざける。換気をする。嘔吐物の処理はPMの方に連絡してお願いする。



## 2. 災害の場合（地震、火災、落雷など）

- ・教員向けに災害時対応マニュアル作成  
担当者会議等で教員に周知する。

- ・避難経路の確認

理工学基礎実験ではA B C D実験のローテーションが入れ替わる毎に避難訓練代わりに学生に注意事項を説明し非常口を確認させている。



- ・停電時の対応

落雷による長時間にわたる停電や計画停電の時には、実験装置は使わず座学を行う。レポートはサンプルデータを与えるか課題を与えることで対応する。

## 3. 実験自体に起因するケガの場合

各実験の装置、道具ごとに未然に事故を防ぐ安全対策を取っている。